

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

| 受理番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
|-----------|------------------|------------------------|----|----|
| 30-81 | 小学校 | 社会 | 社会 | 5 |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 | | |
| 2 東書 | 社会 501 社会 502 | 新しい社会 5 上 新しい社会 5 下 | | |

1. 編修の基本方針

豊かな学びが未来を拓く

現代は、グローバル化と情報化が進展し、急速に社会が変化する中で、将来を予測することが難しくなっています。一方で、日本の社会は、人口減少、少子化、高齢化など、多くの課題を抱えています。こうした中で、社会について学び考え、社会とのかかわり方を身につけていくことを通して、未来のよりよい社会づくりに参画・貢献する国民・市民を育てていく社会科の役割は、ますます重要になっています。

本教科書は、教育基本法に示された教育の目標を達成し、社会科の目標である「公民としての資質・能力」の基礎を養うことを目指し、以下の3点を柱として編修に取り組みました。

特色 ①

社会について
「調べて、考えたく
なる」教科書



- 「問題解決的な学習」を進めていくことができる教科書です。
- 「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。

特色 ②

「社会とかかわる」
子供を育てる
教科書



- 社会的な事柄に参画・提案する場面を充実させました。
- 社会に生きる人々の姿を随所に掲載しました。

特色 ③

「主体的に、
楽しく学ぶことが
できる」教科書



- 「見通し」をもって学習を進めることができます。
- 活用できる写真やイラストなどの資料を数多く掲載しました。

特色 ①

社会について「調べて、考えたくなる」教科書

01. 「問題解決的な学習」を進めていくことができる教科書です。

単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を教科書紙面に構造的に示しています。

1 小単元での本時の「めあて」と学習段階の例

つかむ

鴨川の変化について話し合い、学習問題をつくりましょう。

下 p.124

調べる

なぜ鴨川はよぶれていたのでしょか。

下 p.126

まとめる

鴨川の環境を守るための取り組みをそれぞれの立場でまとめ、話し合いましょう。

下 p.132

いかす

自然を守りながら、人が生活をしていくためには、どのようなことを大切にしなければならぬのでしょうか。

下 p.138

● 1 単位時間の内容を 1 見開きで示すことを原則とし、見開き左ページ側注欄には、本時の「めあて」とその時間の学習段階を明示しました。

● 各学年に、見開きで「学習の進め方」を設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習段階をたどりながら小単元の学習の進め方を示し、問題解決の流れがわかるようにしました。



02. 「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。

見開きの適所に、ドラえもんが目じるしの「見方・考え方」の囲みを提示しました。

空間

上 p.44

時間

下 p.41

相互関係

上 p.57

方法(考え方)

上 p.107

降水量の多い地域は、夏と冬でどのように広がっているのかな。



日本の輸入品は、どのように変わってきたのかな。



寒い土地の家にはどのようにくふうがあるのかな。



地図やグラフを総合して、日本の漁業がどのようになっているかを考えてみよう。



● 「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、方法(考え方)で囲みを変え、どのような視点や方法を働かせればよいかが明確にわかるようにしています。

巻末に特設ページ(「どのように学んだか振り返ろう」)を設け、どのような「方法」を用いて学習したかを振り返ることができるようにしました(上 p.126, 下 p.142)。

03. 「主体的・対話的で深い学び」を進めていくことができます。

「問題解決的な学習」を充実させることが、主体的な学びをつくることにつながります。

● 「つかむ」場面では、「学習問題」を導き出せるよう、掲載する資料(写真・イラスト・グラフ)を工夫しました。

● 「話し合い」の場面を重視し、イラストや写真を適宜掲載するなど、紙面を工夫しました。

● 「まとめる」場面では、学習したことを振り返り、最後に自分の考えを書く活動を位置づけています。



上 p.48-49 雨温図・写真・イラストから考える



下 p.20-21 話し合い、調べる



下 p.68-69 フローチャートにまとめてから、自分の考えをノートにまとめる

特色②

「社会とかかわる」子供を育てる教科書

01. 社会的な事柄に参画するための基礎を培う場面を充実させました。

「これからの食料生産とわたしたち」の「िकास」

- 食料生産の新たな取り組みを調べて紹介し、最後に自分の考えをまとめる場面を掲載しました。



↑上 p.122-123 「食料生産の新たな取り組み」

「わたしたちの生活と環境」の「िकास」

- 架空のまちを流れるきれいな川をめぐる問題についての意見のちがいを取り上げ、自然を大切にしながら人々が生活していくために大切なことについて考える場面を掲載しました。



↑下 p.138-139 「ことなる立場から考えよう」

取り組みを調べて紹介

参画意識を高める

対立する意見

選択・判断

02. 社会に生きる人々の姿を随所に掲載しました。

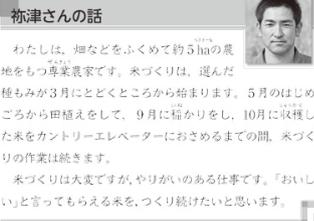
第5学年では、57人が掲載されています。

- 様々な仕事に携わっている人々の姿を、「〇〇さんの話」として随所に掲載しました。

多様な人の生き方にふれ、共感的に学ぶことで、自分のこれからの生き方についても考えることができます。

↑上 p.82

↑下 p.17



シート工場の菊池さんの話



わたしは、ほうせいの仕事をしています。ミシンで布をぬうときには、正確なだけでなく、美しい目がきれいに仕上がるように心がけています。シート工場では、およそ200個もある部品を、お客様の注文に合うように正確に組み立てていきます。組み立て工場がシートを取りつける時間に合わせてシートをとどけています。組み立て工場と同じように、シート工場も、シートの生産に必要な小さな部品を部品工場から仕入れていきます。つまり、組み立て工場と関連工場全体が、大きな一つの工場のようにつながっています。

特色③

「主体的に、楽しく学ぶことができる」教科書

01. 「見通し」をもって学習を進めることができます。

学習問題をつくる 学習問題について予想 学習計画を立てる

- 「学習問題」をつくった後の段階に、「学習問題について予想しよう」「学習計画を立てよう」という場面を適宜提示し、見通しをもって学習を進められるようにしました。



- 第5学年の冒頭に、「4年生で学んだこと」と、「5年生で学ぶこと」をそれぞれ見開きで掲載し、既習事項を振り返り、見通しをもって第5学年の社会科学学習に入れるようにしています。

↑上 p. 80-81 学習問題をつくり、学習計画を立てる

02. 活用できる写真やイラストなどの資料を数多く掲載しました。

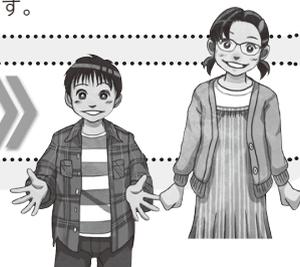


- 見開きを使った写真など、活用できる資料を多数掲載しました。

- 資料には、見開きごとに通し番号を付けています。

- 親しみやすい児童キャラクターが、ドラえもんとともに学習をナビゲートします。

↑上 p.76-77 庄内平野をながめて



2. 対照表

| 図書の構成・内容 | とくに意を用いた点や特色 | 該当箇所 |
|---|---|--|
| 4年生で学んだこと／ 5年生で学ぶこと | ・第4学年の既習事項を振り返り、第5学年の学習内容を提示することで、第5学年の社会科学習に意欲をもって取り組んでいけるようにしました。(第1号) | p.2-5 |
| 1 わたしたちの国土 1 世界の中の国土 2 国土の地形の特色 3 低い土地の暮らし 3 高い土地の暮らし 4 国土の気候の特色 5 あたためたい土地の暮らし 5 寒い土地の暮らし | ・世界の主な国の位置と名称を学習する中で、見開きのキーワードとして「国旗」を取り上げ、他国を尊重する態度を養えるようにしました。(第5号) ・海洋に囲まれ多数の島からなる国土の構成、多様な地形の特色、四季の変化がある気候の特色を学ぶことを通して、我が国の国土の自然に対する愛情を養うことができるようにしました。(第5号) ・人々の暮らしが地形や気候などと深いつながりがあり、環境保全が国民生活の向上や産業の発展につながることに気づけるようにしました。(第4号) ・「学習の進め方」「まなび方コーナー」など、主体的に問題解決的な学習を進めていくために必要な技能を身につけさせる教材を提示しました。(第2号) | p.10-11 p.16-65 p.16-65 p.8, p.24-25 など |
| 2 わたしたちの生活と食料生産 1 暮らしを支える食料生産 2 米づくりのさかんな地域 3 水産業のさかんな地域 4 これからの食料生産とわたしたち | ・庄内平野の米づくり農家をはじめ、様々な仕事に携わる人の姿を「〇〇さんの話」として随所に取り上げ、共感的な理解を促すようにしました。(第2号)(第3号) ・米づくりの学習の中で庄内地方の気候や地形について扱い、農業は環境と深いつながりがあり、環境保全が産業の発展に寄与することに気づけるようにしました。(第4号) ・産業の発展にかかわる先人の努力や、人々が様々な協力をしながらよりよい社会の形成に参画していることを具体的に取り上げました。(第3号) | p.82, p.95, p.103 など p.78-79 p.86-87 |
| 3 わたしたちの生活と工業生産 1 暮らしを支える工業生産 2 自動車をつくる工業 3 工業生産を支える輸送と貿易 4 これからの工業生産とわたしたち | ・幅広い視野から社会的事象の成り立ちや意味を理解したり、自分の生活とのかかわりを考えたりする能力と態度を身につけられるよう、必要に応じて「ことば」欄を設けて学習や生活の基盤となる重要な言葉を抽出し、説明文を付して提示しました。(第1号) ・工業生産に携わる人々が、生産や流通などの面で様々な工夫をし、環境保全や公共の福祉の向上に貢献していることを具体的に取り上げました。(第3号) ・貿易の学習で外国とよりよい関係を築くことの大切さに気づけるようにしました。(第5号) | p.7, p.19, p.74 など p.20-21, p.38-39 など p.40-43 |
| 4 情報化した社会と産業の発展 1 情報産業とわたしたちの暮らし 2 情報を生かす産業 3 情報を生かすわたしたち | ・情報産業や、情報を活用して発展する産業を扱う中で、様々な職業の意義や価値、携わる人の誇りや願いを取り上げ、共感的な理解を促すようにしました。(第2号)(第3号) ・情報を活用して発展する産業が多様であることがわかるよう、「ひろげる」の扱いで、「運輸」「観光」「福祉」を取り上げ、幅広い知識を身につけられるようにしました。(第1号) | p.56-97 p.84-89 |
| 5 わたしたちの生活と環境 1 自然災害を防ぐ 2 わたしたちの生活と森林 3 環境を守るわたしたち | ・国土を保全する森林の働きについて学ぶことを通し、豊かな森林資源を守っていくことの大切さに気づくとともに、自分たちにできることを考えられるようにしました。(第5号) ・学習の成果を生かし、異なる立場から考えることを通して、児童自らがよりよい社会の形成について考える場面を設定しました。(第3号) | p.112-123 p.138-139 |

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

01 全ての児童が使いやすい紙面への配慮

- ① 特別支援教育への配慮 ・全ての児童にとって使いやすくわかりやすいユニバーサルデザインを追求し、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など、様々な面で配慮しています。

すっきりとして見やすく、読みやすいデザイン

- 本文と資料をはっきり区別できるようにレイアウト。
- 児童に注目させたい本時の「めあて」や「学習問題」が目立つよう工夫。

カラーバリアフリーに配慮

- 図表などは、色調の違いだけでなく、模様や形などでも判別できるように配慮。
- 紙面の検討に際しては、カラーバリアフリーに取り組むボランティア団体の協力を得ました。

ユニバーサルデザインフォントの使用

- 教科書の一部にユニバーサルデザインフォント(UDフォント)を使用し、可読性を高めています。

- ② **人権上の配慮**
 - ・児童キャラクター（男性3,女性3）やイラストに描かれる人物が、性別による偏りがないようにしました。
 - ・人権・福祉にかかわる企業の取り組みを取り上げました。 下 p.20-21

③ 造本の工夫 (判型, 書体, 用紙等)

判型

- 資料性、視覚的効果が高い幅広の判型を使用。
- ランドセルや机、道具箱への収納にも配慮。

書体

- 教科書本文は、書き文字に近い教科書体を使用。

用紙・印刷

- 用紙は、軽さや丈夫さと、挿絵や写真の表現力とを兼ね備えた再生紙を使用。
- 鮮明な挿絵、写真等の印刷で、学習内容への関心を高め、意欲を喚起するとともに、資料の確実な読み取りが可能。

02 今日的な課題への取り組み

① 「カリキュラム・マネジメント」への取り組み

- ・「教科関連マーク」
 (教科名)を新設し、関連する他教科の学習内容を示すようにしました。

例

- ・算数 「わりあい、百分率」(上 p.37)
「帯グラフ」(上 p.37)
- ・理科 「天気の変化」(下 p.109)
- ・外国語 「世界のさまざまな国と国旗」(上 p.10)

上 p.76



- ・教科書の随所に掲載している「○○さんの話」は、地域の人材活用を念頭に置いて構成しています。

② 国旗の取り扱い

- ・世界の主な国の位置と名称の学習で主な国の「国旗」を取り上げ、「ことば」で日章旗について解説するとともに、「自国はもちろん、ほかの国の国旗も大切にすることが必要」であることを記述しました。 上 p.10-11

③ 道徳教育との関連

- ・社会科の教科特性に応じて道徳性を養うことができるよう、人間尊重や公共の精神、生命や自然への畏敬の念をはぐくむ教材を取り上げました。 下 p.107

④ 防災教育への対応

- ・「自然災害を防ぐ」の小単元では、折込でプレートを示した日本地図と年表を入れるとともに、自然災害の種類ごとに紙面を構成し、国や自治体の対策や事業などが理解できるようにしました。

下 p.100-111

⑤ 「領土の範囲」の取り扱い

- ・国土の構成や様子は、「多くの島からなる日本」で扱いました。さらに、「領土をめぐる問題」を見開きで取り上げ、竹島、北方領土、尖閣諸島について、本文・地図・写真で丁寧に扱いました。 上 p.12-15

⑦ 環境教育への取り組み

- ・「環境を守るわたしたち」では、京都の鴨川を事例として行政や市民による良好な環境を取り戻す過程や現在の取り組みを取り上げ、生活環境を守ることの大切さに気づけるようにしました。 下 p.124-133
- ・「公害をこえて」では、熊本県水俣市の環境回復への取り組みを取り上げました。

下 p.134-137

⑥ 国際理解・グローバル教育への取り組み

- ・「世界の中の国土」では、主な国の位置と名称の学習に際して、17か国の国旗とともにそれぞれの国の写真を掲載し、児童の国際理解が進むようにしました。 上 p.8-15

⑧ 教育のICT化への対応

- ・「D（デジタル）マーク」を示している箇所には、社会科学習への興味・関心を高めることができるコンテンツを用意しました。目次ページに掲載したURLか2次元コードからアクセスすることができ、家庭学習で活用することができます。
- ・制度化された学習者用デジタル教科書と、教科書に完全準拠した指導者用デジタル教科書（教材）を発行します。指導者用デジタル教科書は、動画資料、アニメーション、自由に教材を作成する機能などを収載しています。

⑨ 教員支援

- ・教師用指導書は、「指導編」では「板書例」「発問例」を載せ、「評価」に関する内容も充実しています。また、「研究編」には小単元ごとの「知識の構造図」を載せ、授業に際して活用できるようにしています。
- ・教師用指導書「研究編」には、「複式年間指導計画」を掲載しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時間数)

| 受理番号 | 学校 | 教科 | 種目 | 学年 |
|-----------|------------------|------------------------|----|----|
| 30-81 | 小学校 | 社会 | 社会 | 5 |
| 発行者の番号・略称 | 教科書の記号・番号 | 教科書名 | | |
| 2 東書 | 社会 501 社会 502 | 新しい社会 5 上 新しい社会 5 下 | | |

1. 編修上, とくに意を用いた点や特色

特色 ①

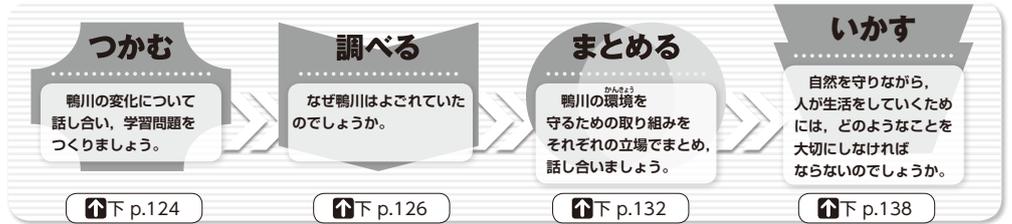
社会について
「調べて、
考えたくなる」
教科書

01 「問題解決的な学習」を進めていくことができる教科書です。

新学習指導要領の第5学年の目標で「学習の問題を追究・解決する活動」と明記され、問題解決的な学習がいっそう重視されています。

● 教科書に沿った学習で、「問題解決的な学習」の展開が可能

「学習問題」や本時の「めあて」をはっきりと示しており、教科書に沿って学習することで、問題解決的な学習を展開できるようにしています。



● 学習段階ごとに、具体的な学習の進め方を提示

「学習の進め方」では、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」のそれぞれの学習段階での具体的な学習の進め方を詳しく説明しています。

上 p.24-25 学習の進め方

02 「見方・考え方」を働かせて学習を進めることができます。

新学習指導要領の第5学年の目標で、「社会的事象の見方・考え方を働かせ」ることが明記されました。

教科書では、見開きの適所に、ドラえもんが目じるしの「見方・考え方」の囲みを提示しました。「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、考え方（「方法」）の合わせて4種類の囲みを使い分けています。

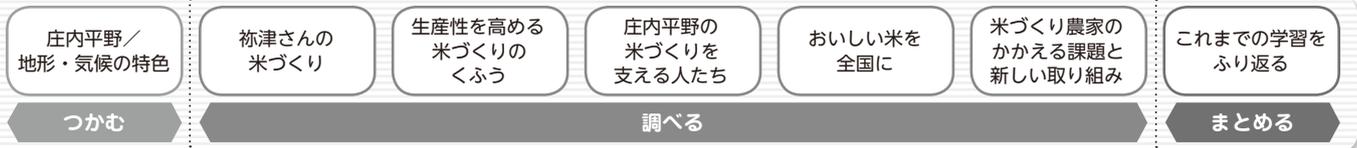
● 一目でわかる「見方・考え方」の囲み

- 空間** (上 p.44): 降水量の多い地域は、夏と冬でどのように広がっているのかな。
- 時間** (下 p.41): 日本の輸入品は、どのように変わってきたのかな。
- 相互関係** (上 p.57): 寒い土地の家には、どのようなくふうがあるのかな。
- 方法(考え方)** (上 p.107): 地図やグラフを総合して、日本の漁業がどのようになっているかを考えてみよう。

03 学習を進めやすい紙面展開

新学習指導要領では、「着目」として具体的に調べる内容が明示されました。

教科書では「着目」の文言をふまえて、学習を進めやすい紙面展開にしています。



↑ 「米づくりのさかんな地域」の小単元の紙面展開

「主体的・対話的で深い学び」を進めていくことができる教科書です。

新学習指導要領「指導計画の作成と内容の取扱い」で、「主体的・対話的で深い学びの実現」を図ることが明記されたことをふまえ、「問題解決的な学習」の充実を図るなど、教科書の改善を図りました。

● 資料を読み取り、考える

「つかむ」場面では、「学習問題」を児童が導き出せるよう、掲載する資料を工夫しました。



↑上 p.48-49 グラフ・写真・イラストから考える

● 対話的な学び

「話し合い」の場面や社会で働く人から話を聞く場면을重視し、イラストや写真を適宜掲載しました。



↑下 p.52-53 日本の工業生産の課題について話し合う

● 学習を振り返り、考える

「まとめる」場面では、学習したことを振り返り、最後に自分の考えを書き活動を位置づけています。



↑下 p.54 ノートに自分の考えをまとめる

特色②

「社会とかわかる」子供を育てる教科書

01 社会的な事柄に参画・提案する場面を充実させました。

新学習指導要領では、「国土の環境保全」の「森林」や「公害」について、「自分たちにできることを考えたり」「選択・判断したりできるよう」配慮することとされました。

● 「まとめる」と「いかす」を通して、よりよい社会について考える

「環境を守るわたしたち」 「まとめる」



↑下 p.132-133 自分だったら、だれとの活動に協力できるか話し合う

学習したことを振り返り、自分たちにできることを考えたり、話し合ったりする場面を掲載しました。

架空のまちを流れるきれいな川をめぐる問題について異なる意見を取り上げ、自然を大切にしながら人々が生活していくために大切なことを考える場面を掲載しました。

「わたしたちの生活と環境」 「いかす」



↑下 p.138-139 「ことなる立場から考えよう」

「わたしたちの生活と森林」 「まとめる」



↑下 p.122-123 自分たちにできることを考える

02 社会に生きる人々の姿に学ぶ。

● 多様な人の生き方を、インタビューをもとにした生の声で学ぶ

米づくり農家の人、シート工場で働く人、放送局で働く人、環境保全に尽力している人など、多様な人々を、「〇〇さんの話」として随所に掲載しました。

第5学年では、55人が掲載されています。

多様な人の生き方にふれ、共感的に学ぶことで、自分のこれからの生き方についても考えることができます。

↑上 p.82

柿津さんの話

わたしは、畑などをふくめて約5haの農地をもつ専業農家です。米づくりは、選んだ...



シート工場の菊池さんの話

わたしは、ほうせいの仕事をしています。ミンチで布をぬうときには、正確なだけでなく、ぬい目がきれいに仕上がるように心がけています。



↑下 p.17

鴨川を美しくする会の杉江さんの話

この会は、50年ほど前には発足しました。美しい鴨川を未来に伝えたいという思いから、さまざまな活動を行っています。



↑下 p.130

特色 ③

「主体的に、
楽しく学ぶ
ことができる」
教科書

「見通し」と既習事項の「振り返り」を重視した教科書の流れ

| 上巻 | | | | | 下巻 | | |
|---|--|--|------------------------------|-----------------------------------|--|------------------------------|-----------------------------------|
| p.2-3 4年生で学んだこと 「わたしたちが くらしている県」 | p.4-5 5年生で学ぶこと 「くらしをみつめる」 「くらしを支える」 | p.6-p.123 第1～第2単元 (予想と学習計画を 立てる場面を重視) | p.124-125 「5年上で 学んだこと」 | p.126 「どのように 学んだか ふり返ろう」 | p.2-p.139 第3～第5単元 (予想と学習計画を 立てる場面を重視) | p.140-141 「5年生で 学んだこと」 | p.142 「どのように 学んだか ふり返ろう」 |

01 見通しをもって、
学習を進めることができます。

「学習問題」をつかった後に、
「学習問題について予想しよう」
「学習計画を立てよう」という場面を適宜提示し、
見通しをもって学習を進められるようにしました。

上 p.80-81 学習問題をつくり、学習計画を立てる

上巻の最初に「4年生で学んだこと」と「5
年生で学ぶこと」、下巻の最後に1年間を振
り返る「5年生で学んだこと」を掲載しました。

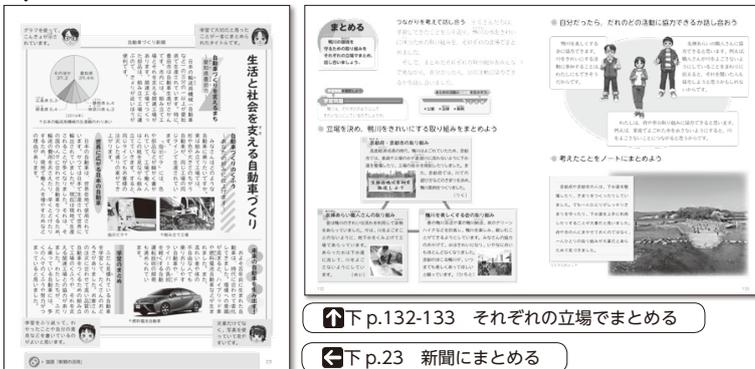
● 予想と学習計画で、問題解決の
見通しをもつ



02 「まとめる」場面では、多様な表現活動に
取り組むことができます。

● 「まとめる」活動を通して、思考力・判断力・表現力を育てる

学習問題を解決する場面では、キャッチコピーをつくる、表にまとめる、
新聞にまとめる、関係図にまとめるなどの表現活動を提示し、習得した知
識を定着させるとともに、思考力・判断力・表現力を育てます。



上 p.132-133 それぞれの立場でまとめる

下 p.23 新聞にまとめる

03 学習場面に応じた学び方を
「まなび方コーナー」で示しています。

5年生では、19か所の
「まなび方コーナー」を
掲載しました。

| 上巻 | 下巻 |
|--|---|
| 見る・聞く・ふれる 質問のしかた 99 | 見る・聞く・ふれる 見学のしかた 13 インターネットで調べる 62 インターネットを活用する 94 |
| 読み取る 地球儀の見方・使い方 8 グラフを読み取る 46 写真の読み取り方 61 折れ線グラフを読み取る 72 景観をとらえる 77 土地利用図の読み取り方 78 | 読み取る グラフの読み方 6 グラフを比べる 41 特ちょうをとらえる 57 |
| 表す・伝える 表にまとめる 93 プレゼンテーションの資料をつくる 108 関連づけて考える 116 | 表す・伝える 新聞づくりのポイント 22 フローチャートにまとめる 68 学習をふり返って考える 113 |

04 活用できる写真やイラストなどの
資料を数多く掲載しました。

資料には、見開きごとに通し番号
を付け、活用しやすくしています。

ひだ
↑1 飛騨山脈

↑2 さまざまな地形

まつもと
↓3 松本盆地(長野県)



上 p.76-77 庄内平野

下 p.102-103
日本で近年起きた主な自然災害

見開きを使った写真など、活用
できる資料を多数掲載しました。

親しみやすい児童キャラクターが、ドラ
えもんとともに学習をナビゲートします。



観点別特色の一覧

| | |
|--|---|
| <p>教育基本法の遵守</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法第2条に示された教育の目標を、小学校社会科の学習を通して達成できるよう教科書紙面が構成されています。(全体) ・第2号については、実際の人に取材した「〇〇さんの話」で様々な職業や社会的活動の意義や価値、携わる人の誇りや願いについて記述し、共感的な理解を促すようにしました。 ・第3号については、「いかす」の学習段階で、自分たちにできることや、異なる意見をふまえて自分の考えをまとめる活動を位置づけ、社会参画の基礎を培うことができるようにしました。 |
| <p>学習指導要領の教科の目標との関連</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領(社会科)に示された目標に則り、学習指導要領の内容をもれなく扱い、単元を適切に構成・配列しました。(全体) ・「見方・考え方」の囲みを新たに設け、「見方・考え方を働かせて」学習が進められるようにしました。(全体) ・小單元ごとに学習問題を設けて紙面を展開しており、「課題を追究したり解決したりする活動」ができるようにしました。(全体) ・様々な仕事や活動で社会に参画する人の思いや願いを囲み文「〇〇さんの話」で提示して共感的に理解させることにより、将来にわたってよりよい社会の形成に参画・貢献する資質や能力の基礎を育成するようにはしました。(全体) |
| <p>社会的な見方・考え方</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・見開きの適所に、ドラえもんが目じるしの「見方・考え方」の囲みを提示しました。「空間」「時間」「相互関係」の三つの視点と、方法(「考え方」)で囲みを変え、どのような視点や方法を働かせればよいか明確にわかるようにしました。(上p.44, 上p.57, 上p.107, 下p.41) など ・巻末に特設ページ(「どのように学んだかふり返ろう」)を設け、どのような方法(「考え方」)を用いて学習したかを振り返ることができるようにしました。(上p.126, 下p.142) |
| <p>思考力・判断力・表現力</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「まとめる」場面では、文章でまとめる、発表する、話し合うなどの言語活動を重視し、習得した知識を定着させ、思考力・判断力・表現力を育成できるようにしました。 ・「いかす」場面では、食料生産の新しい取り組みを調べて紹介し合ったり、自然を守りながら人々が生活していくために大切だと考えたことを書いたりする活動を提示しました。 |
| <p>基礎的・基本的な知識、技能の定着への配慮</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学習上重要なキーワードを「ことば」として明示し、学習内容の確実な習得に役立てるようにしました。(上p.10「国旗」)(上p.89「費用」)(下p.39「運輸」)(下p.109「ハザードマップ」) など ・巻末に、学習事項の確認に用いることができる「さくいん」を設けました。(上p.128, 下p.144) ・随所に「まなび方コーナー」を設け、学習技能を系統的に習得できるようにしました。(上p.8「地球儀の見方・使い方」)(上p.77「景観をとらえる」)(下p.22「新聞づくりのポイント」) など |
| <p>資質・能力への対応</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「資質・能力」の育成すべき三つの柱をふまえて、教科書紙面を構成しました。 ・(「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力等」) ⇒ 上掲 ・(「学びに向かう力, 人間性等」)「わたしたちの国土」の学習を通して、我が国の国土の自然に対する愛情を養うことができるようにしました。また、「これからの食料生産とわたしたち」「これからの工業生産とわたしたち」の小単元の学習を通して、食料生産・工業生産の今後について考え、我が国の産業の発展のために共に努力し、協力しようとする意識をはぐくむことができるようにしました。 |
| <p>学習方法・授業展開への配慮 (アクティブ・ラーニングなど)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの場면을重視し、イラストを適所で示したほか、まとめる場面では学習してきたことを振り返ったうえで学習問題を解決する過程をわかりやすく示し、深い学びにつながるようにしました。(上p.92-93, 下p.132-133) など ・どのような方法を用いて学習したかを振り返ったり、別の学びの進め方(上「思考ツールを使って学習問題をつくろう」, 下「自分の立場を決めて、話し合おう」)に取り組んだりすることができるよう、特設ページを設けました。(上p.126-127, 下p.142-143) |
| <p>問題解決的な学習の充実</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・単元の「めあて」、小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を構造的に紙面に明示するとともに、見開き側注欄の本時の「めあて」に学習段階(つかむ, 調べる, まとめる, いかす)を目立つ形で示し、問題解決的な学習の展開をうながしました。 例(上巻第2単元 2「米づくりのさかんな地域」); (上p.67単元の「めあて」)(上p.76「つかむ」)(上p.82「調べる」)(上p.92「まとめる」) |
| <p>今日的な課題に関する内容</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・学年の学習内容に応じて、今日的な課題について積極的に取り上げるようにしました。 ⇒防災…(下p.100-111「自然災害を防ぐ」), 領土…(上p.12-15「多くの島からなる日本」「領土をめぐる問題」), 環境…(下p.124-139「環境を守るわたしたち」), 情報…(下p.74-83「情報を生かす産業」) など |
| <p>他教科との関連</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・他教科の学習内容と関連する箇所は、「教科関連マーク」と学習内容をページの欄外に示し、関連を図ることができるようになりました。(上p.10 外国語「世界のさまざまな国と国旗」)(上p.37 算数「わりあい, 百分率」「帯グラフ」)(上p.76 家庭「ご飯の調理」)(下p.109 理科「天気の変化」) など |

| | |
|------------------------------|---|
| 人権への配慮 | <ul style="list-style-type: none"> キャラクターやイラストに描かれる人物などが、性別による偏りがないようにしました。 「寒い土地の暮らし」の「守ってきた文化を受けつぐ」でアイヌの人々の暮らしを取り上げ、見開きのキーワードの「ことば」では「先住民族」について解説しました。 (上 p.62-63) |
| 印刷・造本の工夫 (親しみやすさ、使いやすさなど) | <ul style="list-style-type: none"> 資料性、視覚的効果が高く、ランドセルや机、道具箱への収納にも配慮した幅広の判型を用い、見開きの情報量を充実させるとともに、資料提示効果の高い紙面構成に努めました。 軽さや丈夫さと、挿絵や写真の表現力を兼ね備えた再生紙を使用し、挿絵、写真等の印刷は鮮明で、学習内容への関心を高め、資料の確実な読み取りができるようにしました。 |
| 印刷・製本の配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 安全性の高い植物油インクで印刷し、長期の使用や持ち運びに耐えるよう、表紙には汚れにくく、防水効果、強度の高い加工（PP加工）を施すとともに、堅牢な針金綴じを用いて製本しました。 |
| 書体・大きさ | <ul style="list-style-type: none"> 筆写の文字に近く読みやすい専用教科書体と、視覚にうったえるゴシック体の文字をバランスよく使い分けるとともに、児童の発達段階に配慮した適切な大きさの文字を用いました。また、読みやすさを追求し、適所にユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を用いました。 |
| 表記・表現 | <ul style="list-style-type: none"> 国語科との関連や児童の発達に十分配慮し、当該学年以上の配当漢字にはふりがなを付しました。また、一文を短く、全体の文章量が過多にならないよう簡潔な文章表現に努める一方、必要な場面では、学習内容を確実に理解させるための丁寧な文章表現を用いました。 |
| 特別支援教育にかかわる適切な配慮 | <ul style="list-style-type: none"> 児童が障がいその他の特性の有無にかかわらず教科書を学習できるように、ユニバーサルデザインの考えに基づいて、紙面を作成しています。 カラーバリアフリーに取り組むボランティア団体の協力を得て、配色や色にかかわる表現を点検するとともに、だれも見やすく、わかりやすい落ち着いたレイアウトに努めました。図表の配色に当たっては、必要に応じて形や模様により識別できるようにしました。 |

2. 対照表

配当時数計：100

| 単元名・小単元名 | 学習指導要領の内容 | 該当箇所 | 配当時数 |
|-------------------|--------------------------|-----------|------|
| 1 わたしたちの国土 | (1) 我が国の国土の様子と国民生活 | p.6-65 | 20 |
| 1 世界の中の国土 | (1) ア - (ア) (ウ), イ - (ア) | p.8-15 | 4 |
| 2 国土の地形の特色 | (1) ア - (イ) (ウ), イ - (イ) | p.16-21 | 3 |
| 選択 3 低い土地の暮らし | (1) ア - (イ) (ウ), イ - (イ) | p.22-31 | (5) |
| 3 高い土地の暮らし | (1) ア - (イ) (ウ), イ - (イ) | p.32-39 | (5) |
| 4 国土の気候の特色 | (1) ア - (イ) (ウ), イ - (イ) | p.42-47 | 3 |
| 選択 5 あたたかい土地の暮らし | (1) ア - (イ) (ウ), イ - (イ) | 上 p.48-55 | (4) |
| 5 寒い土地の暮らし | (1) ア - (イ) (ウ), イ - (イ) | p.56-63 | (4) |
| 2 わたしたちの生活と食料生産 | (2) 我が国の農業や水産業における食料生産 | p.66-123 | 25 |
| 1 暮らしを支える食料生産 | (2) ア - (ア) (ウ), イ - (ア) | p.68-75 | 4 |
| 2 米づくりのさかんな地域 | (2) ア - (イ) (ウ), イ - (イ) | p.76-93 | 8 |
| 3 水産業のさかんな地域 | (2) ア - (イ) (ウ), イ - (イ) | p.96-109 | 7 |
| 4 これからの食料生産とわたしたち | (2) ア - (ア) (ウ), イ - (ア) | p.114-123 | 5 |
| 3 わたしたちの生活と工業生産 | (3) 我が国の工業生産 | p.2-55 | 21 |
| 1 暮らしを支える工業生産 | (3) ア - (ア) (イ), イ - (ア) | p.4-9 | 3 |
| 2 自動車をつくる工業 | (3) ア - (イ) (イ), イ - (イ) | p.10-23 | 7 |
| 3 工業生産を支える輸送と貿易 | (3) ア - (ウ) (イ), イ - (ウ) | p.36-45 | 5 |
| 4 これからの工業生産とわたしたち | (3) ア - (ア) (イ), イ - (ア) | p.46-55 | 5 |
| 4 情報化した社会と産業の発展 | (4) 我が国の産業と情報との関わり | p.56-97 | 16 |
| 1 情報産業とわたしたちの暮らし | (4) ア - (ア) (ウ), イ - (ア) | 下 p.58-69 | 6 |
| 2 情報を生かす産業 | (4) ア - (イ) (ウ), イ - (イ) | p.74-83 | 5 |
| 3 情報を生かすわたしたち | (4) ア - (イ) (ウ), イ - (イ) | p.90-97 | 4 |
| 5 わたしたちの生活と環境 | (5) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連 | p.98-139 | 18 |
| 1 自然災害を防ぐ | (5) ア - (ア) (イ), イ - (ア) | p.100-111 | 5 |
| 2 わたしたちの生活と森林 | (5) ア - (イ) (イ), イ - (イ) | p.112-123 | 6 |
| 3 環境を守るわたしたち | (5) ア - (ウ) (イ), イ - (ウ) | p.124-139 | 6 |